報道関係各位

ニュースリリース
2013 年 7 月 29 日
株式会社インテージ
（東証 1 部：コード 4326）

アジアインサイトレポート　第 2 弾
『アジア 4 ヵ国の色に関する意識調査～色で表す日本のイメージ～』
日本人もアジア 3 ヵ国の人々も日の丸の「赤」と「白」が TOP2
日本人はブルー系も自国のイメージとして挙げている
アジア 3 ヵ国の人々からは「桜」を象徴するピンク系も多い

株式会社インテージ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮首　賢治）は、アジアの人々の意識や行動を探るため、当社の海外グループ会社と協力し、アジア地域の人々を対象にさまざまなテーマで実施した自主企画調査「アジアインサイトレポート」を発行しています。
第 2 弾のレポートでは、株式会社日本カラーデザイン研究所と共同で実施した『アジア 4 ヵ国の色に関する意識調査～色で表す日本のイメージ～』を発表します。本調査は、2013 年 1～4 月に日本、中国、タイ、ベトナムの 20～50 代一般男女各国約 80 人を対象に、調査用紙自記入法（色見本のパネル併用）にて行い、結果をまとめました。

分析者：株式会社インテージ　ヌアンジャークチム　ルンタムルアン
株式会社日本カラーデザイン研究所　稲葉　隆

調査結果

1. 日本のイメージカラー：「日本」vs「アジア 3 ヵ国」

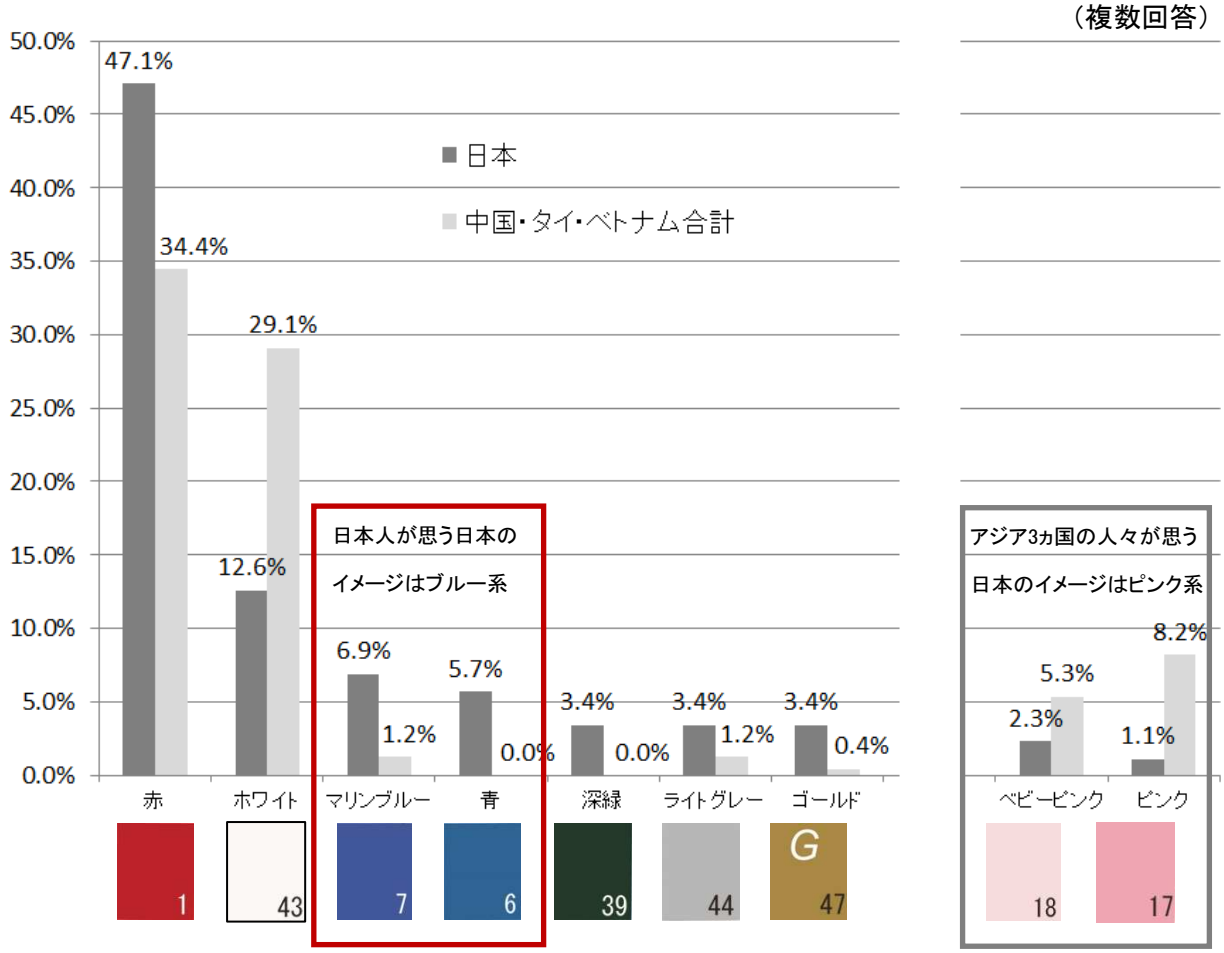
日本人もアジア 3 ヵ国の人々も日本のイメージカラーは「赤」と「白」が TOP2。次いで多い色は、日本人は“ブルー系”、アジア 3 ヵ国の人々は“ピンク系”

図 1 は、日本人が思う日本の色とアジア 3 ヵ国（中国、タイ、ベトナム）の人々が思う日本の色の結果である。両者とも国旗（日の丸）の「赤」と「白」を日本のイメージカラーとする割合が多い。ただ、日本人が「赤」5 割、「白」1 割の割合なのに対して、アジア 3 ヵ国合計では「赤」と「白」が 3 割程度で同率である点が異なっている。アジア 3 ヵ国の人々が日本＝「白」とイメージするのは、都市の清潔さや一歩先を行く美白文化を連想していると考えることもできる。
また、特徴的なことは日本人がブルー系を日本の色として挙げるのに対して、アジアの人はピンク系を挙げていることである。日本人にとってブルー系は、伝統的な藍染の色“ジャパニーズブルー”として親しみの深い色であり、“サムライブルー”などスポーツの「日本代表」に採用されている色であることも考えられる。それに対してアジア 3 ヵ国の人々は、ピンクに日本の花である“桜”を連想する、あるいは現代日本のポップカルチャーを象徴する“KAWAII”をイメージしているのかもしれない。

株式会社インテージ
〒101-8201　千代田区神田練塀町 3 番地　インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

［図 1］ 日本人とアジア 3 ヵ国（中国、タイ、ベトナム）の人々が思う「色で表す日本のイメージ」上位色

（複数回答）



※各色に表示されている数字は色見本の番号

株式会社インテージ
〒101-8201　千代田区神田練塀町 3 番地　インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

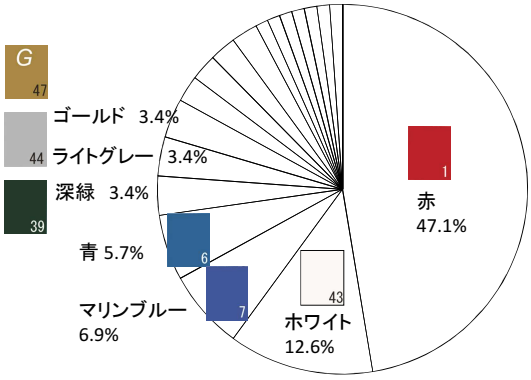
2. 日本のイメージカラー:「各国別」

中国の人は無彩色系、ベトナムの人は暖色系(ピンク、オレンジ、赤紫)の回答が特徴的

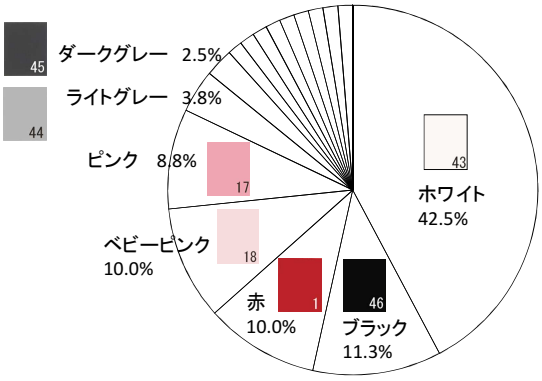
国別での日本のイメージカラーを見ると、アジア3ヵ国のいずれもピンク系を日本の色として認めていることがわかる。

日本人は、日本のイメージカラーとして「赤」を選択した人が最多。次いで「白」、ブルー系に続き、同じ自然の色である「深緑」、都会的な「ライトグレー」、経済的豊かさを感じる「ゴールド」と続く。中国人は自国に「赤」のイメージが強いためか、「赤」を日本の色とする割合は低く、「ブラック」、「ライトグレー」、「ダークグレー」という無彩色の割合が他国より高いことが特徴的である。これは、日本=先進国・都市のイメージが重なるからかもしれない。それに対して、タイ人は「赤」を選んだ割合が最も高く65.5%を占める。ベトナム人は比較的多様な見方をしており、他国では選択されなかった「オレンジ」や「赤紫」という赤の周辺の色相(日本では"アジア的"とされる色)も挙げている。

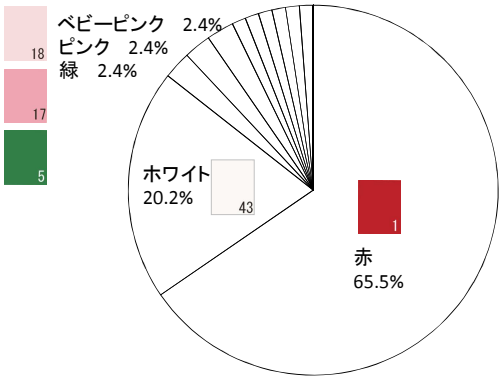
[図 2] 国別「色で表す日本のイメージ」(複数回答)



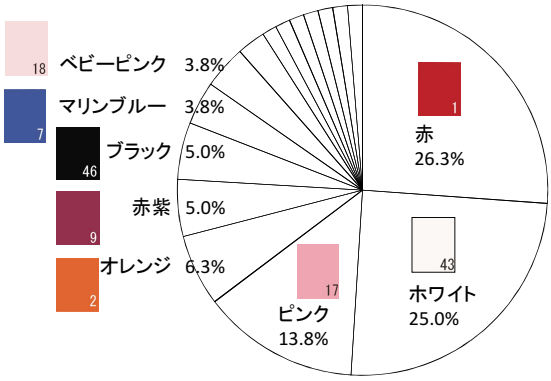
日本人からみた日本の色



中国人からみた日本の色



タイ人からみた日本の色



ベトナム人からみた日本の色

※各色に表示されている数字は色見本の番号

株式会社インテージ
〒101-8201 千代田区神田練塀町3番地 インテージ秋葉原ビル
www.intage.co.jp

調査概要

調査方法：調査用紙自記入法（色見本のパネル併用）

調査地域：日本、中国、タイ、ベトナム

調査対象者：20～50 代の一般男女

調査サンプル：

日本（男性 44 人/女性 43 人）、中国（男性 40 人/女性 40 人）、タイ（男性 42/女性 42 人）、ベトナム（男性 40 人/40 人）

調査期間：2013 年 1 月～4 月

調査実施機関：株式会社インテージおよび海外グループ会社

※本調査は株式会社インテージと株式会社日本カラーデザイン研究所が共同で実施。

【株式会社インテージ】http://www.intage.co.jp/

株式会社インテージ（市場名：東証 1 部・4326、本社：東京都千代田区、設立年月日：1960 年 3 月 2 日、代表取締役社長：宮首　賢治）は、インテージグループ各社とともに、リサーチノウハウ、データ解析力、システム化技術と、これらに基づく情報評価力をコア・コンピタンスとして、経営およびマーケティング上の意思決定に役立つ情報（Intelligence）を提供。国内マーケティングリサーチのパイオニアとして、お客様のビジネスの成功に貢献してまいります。

【株式会社日本カラーデザイン研究所】http://www.ncd-ri.co.jp/

株式会社日本カラーデザイン研究所（本社：東京都文京区、設立年月日：1967 年 1 月 20 日、代表取締役所長：宮岡直樹）は、心理学的立場から色彩デザイン、消費者嗜好などの研究に基づく情報を、メーカー、流通、広告、建築など多岐にわたる業種の企業、公共団体等に提供。また独自開発した「Hue＆Tone」システムや「カラーイメージスケール」は、あらゆる分野のカラープランニング、マーケティング、カラー・デザイン戦略などの課題解決に活用されています。

【この件に関するお問い合わせ先】

■株式会社インテージ　広報担当

担当：小関（おぜき）／佐藤（さとう）

TEL：03-5294-6000　FAX：03-5294-8318

サイト「お問い合わせフォーム」

http://www.intage.co.jp/contact/